

【平成 29 年 10 月 4 日】

地盤工学会 「第 12 回環境地盤工学シンポジウム 学会発表」のご報告

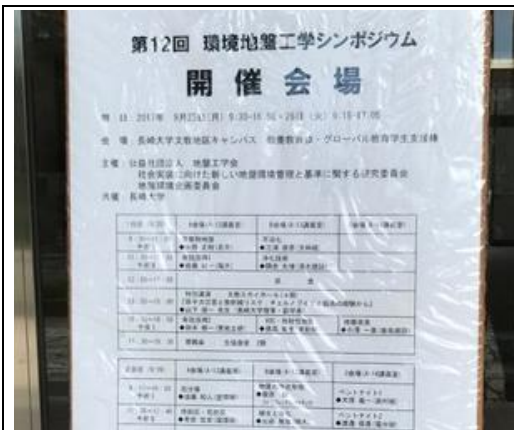
地盤工学会の第 12 回環境地盤工学シンポジウム（長崎大学文教キャンパス）にて、下記研究発表を行いましたのでご報告いたします。本発表では、工事から発生する建設汚泥を資源として再利用するため、トレーサビリティを確保するシステムや都市内埋立における沈下対策について発表いたしました。

【研究テーマ】

阪神高速大和川線シールド工事における「建設汚泥」統合管理システムの開発・運営と埋立用資材としての活用事例

【研究者】

阪神高速技術株式会社	山名宗之、河村勝、富澤康雄
一般財団法人関西環境管理技術センター	稲垣学武、水田和真
東洋建設株式会社	上原浩二
大阪ベントナイト事業協同組合	水野克己、浜野廣美
京都大学大学院 教授	勝見 武
一般社団法人環境地盤工学研究所 理事長	嘉門 雅史



【本件に関するお問い合わせ先】

一般財団法人関西環境管理技術センター 企画管理部企画推進課

TEL (06)6583-3262